

活動分野	緑のおもしろ講座		
タイトル	キノコの不思議：生態から健康パワーまで		
実施日時	平成29年9月9日（土）10時～14時		
実施場所	千葉市都市緑化植物園		
受講者	6名	F I C会員他スタッフ	9名

活動の内容

午前中にキノコとはどのような生き物か、生態、多様な形態、他の生物との関係、樹木との菌根形成、菌寄生植物との関係を説明。代表的なキノコ及び各林に生えるキノコの紹介、栽培されるキノコとそれらのキノコの栄養と健康への作用を説明した。また、中毒の多い毒キノコとそれらの中毒症状を紹介した。



ホウライタケ属

午後は園内でキノコを探し、見つけたキノコについて説明した。数週間前に多くのキノコが発生した後、発生が中休み状態なのか。キノコは少なかった。主に腐生性のキノコが多く、キツネノカラカサの仲間（ナカグロキツネノカラカサと思われる）やヒトヨタケの仲間の柄のみ残ったもの、ホウライタケの仲間、アイセンボンタケ（幻覚性）とおぼしきキノコ、枯れ木上ではチャヒラタケの仲間、アラゲキクラゲ、コフキサルノコシカケ、クジラタケが見られ、菌根菌と思われるものはヒメコウジタケとニオイコベニタケの2種であった。菌寄生植物のマヤラン（ロウタケに寄生）が実を付けていた。



クジラタケ